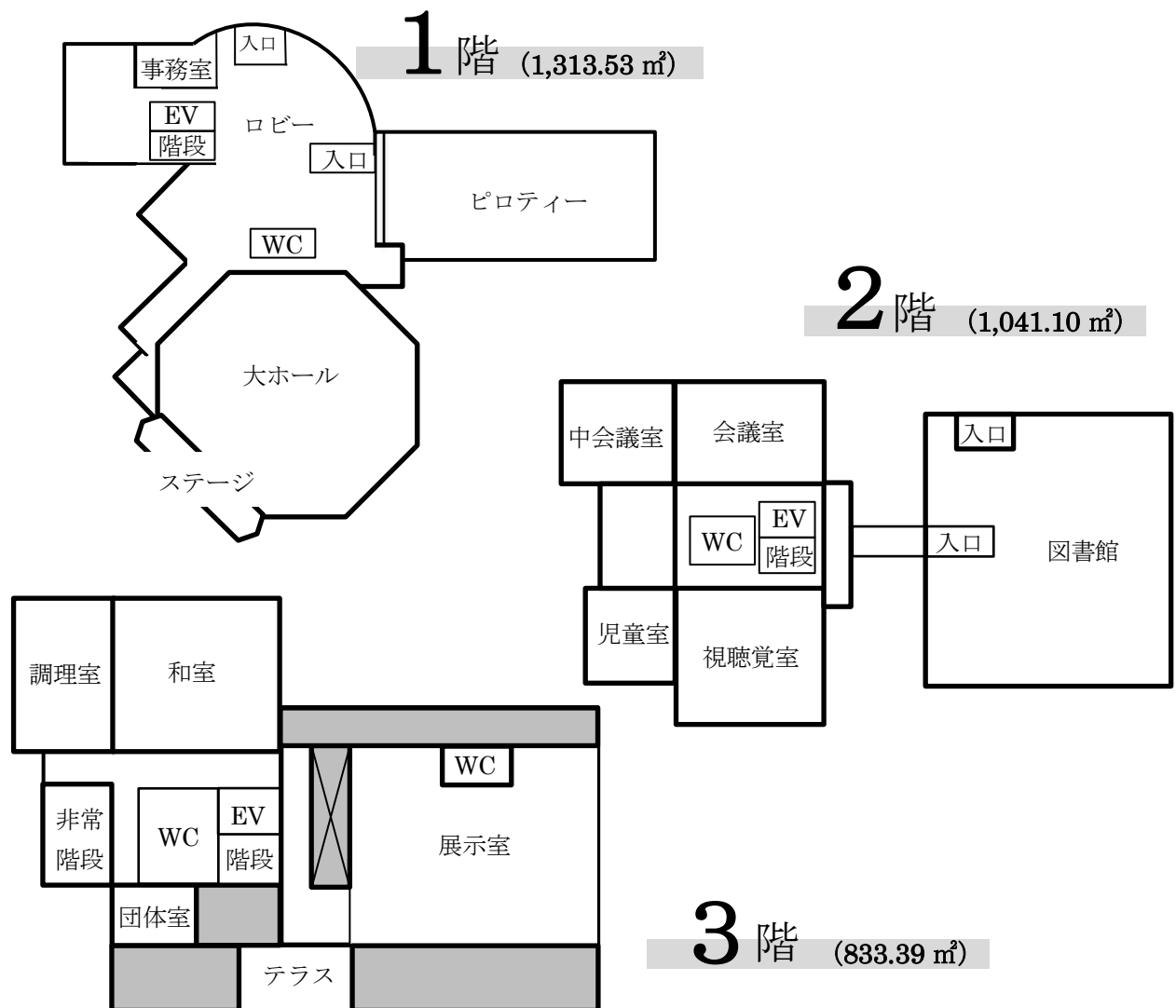


首里公民館



〒903-0812 那覇市首里当蔵町 2-8-2
TEL 917-3445 FAX 885-2063

利 用 施 設 の ご 案 内



部 屋 名	利用人数	用 途 (備 品)
ホ ー ル	300 人程度	講演会・研修会 (ピアノ・イス・テーブル)
ロ ビ ー		市民の憩いの場、学習スペース (50 席)
ピ ロ テ ィ ー	100 人程度	工作活動・野外の発表会 (野外ステージ)
ふれあいファーム		講座で使用する畑、軽易な遊び
会 議 室	30 人程度	研修会・講座・会議 (イス・テーブル)
中 会 議 室	20 人程度	研修会・講座・会議 (イス・テーブル)
視 聴 覚 室	30 人程度	視聴覚機器を利用した学習会・講習会 (イス・テーブル・DVD デッキ)
児 童 室	15 人程度	子どもの活動の場・会議 (イス・テーブル)
和 室	25 人程度	茶道・生け花・和裁・着付け等 (テーブル)
展 示 室	約 400 m²	学級、各団体の作品及び書道、写真等の展示
調 理 室	25 人程度	調理実習 (7 調理台・料理用器具等)
団 体 室	10 人程度	利用団体の連絡事務・少人数の会議 (イス・テーブル)

I 首里公民館の沿革

設計にあたっては一般公募（競技設計）方式を採用している。1982年（昭和57年）12月18日建設に着工、翌年の1983年（昭和58年）11月30日に竣工した。

同館は首里城の北東部、古くは蓮小堀（リングムイ）、その後の首里バスターミナル跡に位置している。首里城公園をちかくにひかえていることから、付近の景観とバランスを考慮した設計になっている。ホールと展示室の屋根には銅板を冠し、全体的に丸みを帯びた形になっている。

1983（昭和58）年9月1日	那覇市首里公民館開館準備のため主査 仲松弥寿博が発令された。
11月1日	那覇市首里公民館の発足に伴い、主査 仲松弥寿博が配置された。
11月30日	那覇市首里公民館の開館式が行われた。
12月15日	自主グループ・サークルへの施設の提供が始められた。
1984（昭和59）年2月8日	公民館講座が開始された。
3月17日	第1回首里公民館まつりが開催された。
1985（昭和60）年11月1日	首里公民館利用団体連絡協議会が結成された。
1986（昭和61）年4月1日	主事が公民館主事に職名変更された。
1987（昭和62）年4月1日	主査 仲松弥寿博配置替えにより、主査 佐久本全が発令された。
8月1日	「広報龍樋」が創刊された。
1989（平成元）年6月13日	那覇市保育室運営要綱（公運審答申）に基づいて、乳幼児学級に保育室が設置された。
1990（平成2）年4月1日	主査が館長に職名変更された。
12月7日	第20回沖縄県公民館研究大会において優良公民館として表彰された。
1992（平成4）年4月1日	館長 佐久本全配置替えにより、館長 平良豊宏が発令された。
1993（平成5）年2月18日	平成4年度沖縄県生涯学習振興大会において社会教育功労施設として表彰された。
1994（平成6）年1月29日	首里公民館開館10周年記念式典、祝賀会及び記念公演「組踊と舞踊の鑑賞会」が行われた。
4月1日	館長 平良豊宏配置替えにより、館長 高江洲盛雄が発令された。
1996（平成8）年4月1日	公民館主事1減に伴い社会教育指導員1増。
11月1日	第49回優良公民館として文部大臣表彰を受けた。
1997（平成9）年4月1日	館長 高江洲盛雄配置替えにより、館長 宮里憲幸が発令された。
2001（平成13）年4月1日	館長 宮里憲幸配置替えにより、館長 新垣紀夫が発令された。
2003（平成15）年12月6日	首里公民館開館20周年記念式典・祝賀会が行われ、記念誌が発刊された。
2004（平成16）年2月15日	首里公民館開館20周年記念講演会「関東公演成功までの軌跡」が行われた。
2004（平成16）年4月1日	館長 新垣紀夫配置替えにより、館長 手登根朗が発令された。
2005（平成17）年4月1日	社会教育指導員1減。
2008（平成20）年4月1日	館長 手登根朗配置替えにより、館長 上原昭則が発令された。
2008（平成20）年12月13日	開館25周年記念式典を1階ホールにて行なう。
2010（平成22）年4月1日	館長 上原昭則配置替えにより、館長 下地敏雄が発令された。
2012（平成24）年4月1日	館長 下地敏雄配置替えにより、館長 渡嘉敷宗清が発令された。
2013（平成25）年4月1日	館長 渡嘉敷宗清配置替えにより、館長 比嘉徳広が発令された。

2013（平成25）年11月30日	首里公民館開館30周年記念式典・祝賀会が行われた。
2014（平成26）年3月4日	第66回優良公民館として文部科学大臣表彰を受けた。
2015（平成27）年3月31日	首里公民館開館30周年記念誌が発刊された。
2016（平成28）年4月1日	館長 比嘉徳広配置替えにより、館長 田端研二が発令された。
2018（平成30）年4月1日	館長 田端研二配置替えにより、館長 上原堅次郎が発令された。
2020（令和2）年4月1日	館長 上原堅次郎配置替えにより、館長 細田聖子が発令された。
2022（令和4）年4月1日	館長 細田聖子配置替えにより、館長 宮平佳樹が発令された。
2024（令和6）年4月1日	館長 宮平佳樹配置替えにより、館長 金城浩二が発令された。

Ⅱ 令和6年度首里公民館事業目次

1	学習風景（写真）	57
2	成人一般対象事業	
〔1〕	市民講座	
◇	首里学校	58
◇	平和朗読会	59
◇	必見！写真を永遠に保存～紙写真をデジタル化～	60
〔2〕	成人講座	
◇	イケオジ倶楽部	61
◇	首里城と城下町～文化の交差点を眺める～	62
◇	首里城下町Night Walk	63
◇	大人の体験教室in首里公民館	64
3	高齢者対象事業	
〔1〕	高齢者学級	
◇	初めて触る！スマートフォン講座	65
◇	「スマートフォン講座（初心者向け）」	66
◇	守礼大学	67
4	青少年対象事業	
〔1〕	少年教室	
◇	首里公民館に遊びにおいでよ！＊IN夏休み＊《子どもの居場所》	68
◇	森の家みんな楽しく自然体験！！	69
〔2〕	青年講座	
◇	bistrot首里2024	70
〔3〕	親子ふれあい事業	
◇	親子で「首里」を楽しもう！～首里の自然・文化に触れてみよう！～	71
5	家庭教育事業	
〔1〕	家庭教育学級	
◇	N0と言えない おとな達 〈学校に行けない子ども達〉	72
◇	おとなのじぶん研究	73
〔2〕	乳幼児学級	
◇	がんばらない育児～ with baby ～	74

6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

- ◇茶の湯（茶道）を体験しよう！・・・・・・・・・・・・・・・・7 5
- ◇首里公民館まつり茶会・・・・・・・・・・・・・・・・7 6
- ◇んかしあそび（へびを作る）・・・・・・・・・・・・・・・・7 7

〔2〕地域学習支援講師派遣事業

- ◇地域学習支援講師派遣事業・・・・・・・・・・・・・・・・7 8

7 公民館まつり・・・・・・・・・・・・・・・・7 9

1 学習風景

成人講座

「大人の体験教室 in 首里公民館」



高齢者学級

「『守礼大学』～王都首里めぐり～」



青年講座

「Bistrot 首里 2024」



親子ふれあい教室

「親子で『首里』を楽しもう！～首里の自然・文化に触れてみよう～」



市民講座

「首里学校」



乳幼児学級

「がんばらない育児 ～with baby～」



2 成人一般対象事業

〔1〕市民講座

講座名 タイトル		首里学校						
事業概要		第2次世界大戦で壊滅して復興するまでの歴史などを様々な角度から、首里について学んでいく。戦後79年、華やかに見える現況の背景にある「負の遺産」を継承していくことの大切さを知る。						
現状・課題		戦後79年となる今、戦争を知らない世代が市民の大半を占めており、次世代へ沖縄戦を語り継ぐことも難しくなっているのが現状である。第5次那覇市総合計画の施策6においても平和を希求・継承について記載されている						
事業目的 めざす姿		先の大戦や復興の歴史などの経験を継承し、平和を希求する市民の思いとして受け継いでいくことを目指す。また、そこから首里への愛着を促すものとする。						
対 象		那覇市在住・在勤・在学の人						
募集人数等		定員 20人 申込 22人 参加延べ 74人 【申込率110%・参加率93%】						
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	4月18日(木)	10:00 ～ 12:00	首里城公園	18	10	8	0
	02	4月25日(木)	10:00 ～ 12:00	首里城 首里杜館	19	10	9	0
	03	5月2日(木)	10:00 ～ 12:00	首里公民館 視聴覚室	19	10	9	0
	04	5月9日(木)	10:00 ～ 12:00	首里公民館 視聴覚室	18	9	9	0
内容	01	首里城再建工事の過程を見る（フィールドワーク）						
	02	32軍壕について（フィールドワーク）						
	03	首里城周辺の軍司令部壕と戦時の首里を知る（座学）						
	04	気軽にタイムトリップ						
講 師		沖縄総合事務局 国営沖縄記念公園事務所、仲村真（沖縄県平和祈念資料館友の会）、伊集守道（那覇市歴史博物館）						
【講座の様子・感想】								
・自分の住んでいる首里の歴史がよくわかり、初めて知ることも多く、とても良かった。 ・貴重な話が聞け、大変有意義な時間でした。我々は亡くなられた人々のうえで生活しているのだなと思うと胸がいたみます。戦争はいらない。今の世界中で戦争をしていることを思うと平和が大事！ ・アンケート結果（満足度）100% 								
【成果】								
・アンケートでは「もっと知りたい」と意欲的な声が多数見られた。 ・沖縄県の後援を受けて広報を行った。チラシを見て申し込んだ人が多かったため、配布先も妥当であった。 ・一つのカテゴリーに興味を持った人が違った角度の学びを得たことが伺える。 ・また参加したいと答える人が多く、更に深掘した学びを望む姿勢が見られた。 								



2 成人一般対象事業

〔1〕市民講座

講座名 タイトル		平和朗読会～命どう宝～							
事業概要		市民講座「首里学校」からの流れで、平和朗読会を開催する。戦後79年、平和への思いを継承していくことの大切さを知る。							
現状・課題		戦後79年となる今、戦争を知らない世代が市民の大半を占めており、次世代へ沖縄戦を語り継ぐことも難しくなっているのが現状である。第5次那覇市総合計画の施策6においても平和を希求・継承について記載されている							
事業目的 めざす姿		先の大戦や復興の歴史などの経験を継承し、平和を希求する市民の思いとして受け継いでいくことを目指す。							
対 象		那覇市在住・在勤・在学の人							
募集人数等		定員なし				参加延べ 100人			
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン	
	01	6月22日(土)	14:00 ～ 16:00	首里公民館 ホール	100	12	88	0	
内容	01	平和朗読、朗読に合わせた琴の演奏、創作ダンス							
講 師	山内 マサ子、首里高校ダンス部 (演者)								
【講座の様子・感想】									
・初めて平和朗読会に参加しましたが、なまなましい体験話で悲惨で悲しいお話に耳をふさぎたくなる場面もありました。末々の子供たちの為にも改めて戦争を起こしてはいけないと思いました。深く心に刻み、平和を願い続けていこうと決意しました。 ・首里高校ダンス部の皆さん、最高のパフォーマンス素晴らしかった。泣けた！ ・アンケート結果（満足度）98%									
									
【成果】									
・「あらためて伝えていく大切さを感じた」「非常によかった。もっと具体的な体験談を取り入れて欲しい」などアンケートでは平和の大切さを感じ取った文言が多かった。 ・市民の友だけではなく、首里高校ダンス部の時間を設けたために関係者も参加が多かった。 ・高齢者層も多いが、10代の参加も見られた。 ・平和の尊さだけではなく、継承していく大切さも理解し学びとってもらった。 ・朗読の会への労いだけではなく、高校生の思いに胸が熱くなったとの回答から、平和活動への関心が高まったと考えられる。									
									

2 成人一般対象事業

〔1〕市民講座

講座名 タイトル		必見！写真を永遠に保存　～紙写真をデジタル化～							
事業概要		個人で持つ写真や8mmフィルムは、世代交代で受け継がれずに処分されることが多々ある。過去の講座でも、「古写真は那覇の貴重な史的資料となるのではないかと投げかけてきたが、今回は実際にデジタル化の術を伝える。							
現状・課題		総務省の「令和5年通信利用動向調査」によると、2024年6月時点で世帯におけるスマートフォンの保有率は90.6%となっており、本市においてもDX推進（特に高齢者）は大きな課題となっている。（しかし、記録としての紙媒体の大切さも忘れてはならないものである）							
事業目的 めざす姿		想いのある写真をデジタル化し、スマートフォンに取り込むことによって、DXへの「はじめの一步」となるように促す。また、那覇（沖縄）への郷土愛を育むと共に、写真の持つ記録性・社会性も考える（市民が持ち寄る古い写真や8mmフィルムを有効に歴史的アーカイブとして残す意義）。学んだ受講者が次の人へ「知」の循環ができることが望ましい。							
対　　象		那覇市内在住・在勤・在学の人							
募集人数等		定員 20人　申込 28人 参加延べ 62人 【申込率140%・参加率103%】							
日時 場所	回	期日	開始　～　終了		実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	10月30日(水)	10:00　～　12:00		首里公民館　視聴覚室	19	8	11	0
	02	11月6日(水)	10:00　～　12:00		首里公民館　視聴覚室	25	12	13	0
	03	11月20日(水)	10:00　～　12:00		首里公民館　視聴覚室	18	7	11	0
内容	01	アプリのインストールと利用							
	02	8mmフィルムを鑑賞・解説							
	03	初回で集められた写真鑑賞と、それにまつわる歴史講話							
講　　師		宮里弥杉（シムネットワーク）、眞喜屋 力・仲間公彦（沖縄デジタルアーカイブ協議会）、伊集守道（那覇市歴史博物館）							
【講座の様子・感想】									
・やはりなんにでも興味を持って、いくつになっても学ぶことは大事だと知りました。昔の風景にも感動しました。 ・懐かしい映像の数々でした。昔の記録を忘れないように残す。すばらしい手段。映像に残すことの素晴らしさを確認しました。良い機会でした。 ・アンケート結果（満足度）94% 									
【成果】									
・写真や動画など、後世に残していくデジタルな記録媒体を知ることができたのではないかと。 ・市報とチラシを主とした広報にした。アナログからデジタルへ促すことは有効である。 ・高齢受講者が多い中、比較的若い受講者もいたが、「アナログの良さ」も伝えることができた。 ・紙媒体の大切さ、そしてDXへの始めの一步に近づけたと考える。 ・古い写真を見直してみたい。初回（デジタル化）以降、さっそくスマートフォンで作業をしていると話していた受講生も複数いたので、行動変容は大いにみられる。 									



2 成人一般対象事業

〔2〕成人講座

講座名 タイトル		イケオジ倶楽部							
事業概要		定年前後の男性をターゲットとし、コミュニティ作り・仲間作りを促し、心身共に健康で年を重ねることで健康寿命を伸ばすことを目標としており、本企画により生涯学習へ関心を持ってもらう機会とする。〈事業終了後、定期利用団体として活動することを想定〉							
現状・課題		那覇市の総人口はR5年度で31.7万人台、R22年度には30万人を下回る可能性がある一方、高齢化率がR5年度は24.6%、R22年度には32%となる見込みである。また、公民館利用者は圧倒的に女性が多く、他者と関わり人生後半を楽しむ男性は多くない。							
事業目的 めざす姿		本市が「高齢者がいきいきと、支えあいのある地域の中で、安心して暮らせるまち」を【第8次なは高齢者プラン】の基本理念としていることから、本事業でも促していく。							
対 象		那覇市内在住・在勤で50才～69才の男性							
募集人数等		定員 12人 申込 18人 参加延べ 59人 【申込率150%・参加率92%】							
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン	
	01	2月9日(日)	14:00 ～ 16:00	首里公民館	15	15	0	0	
	02	2月16日(日)	14:00 ～ 16:00	牧志駅前ほしぞら公民館	16	16	0	0	
	03	3月2日(日)	14:00 ～ 16:00	牧志駅前ほしぞら公民館	13	13	0	0	
	04	3月9日(日)	11:00 ～ 15:00	牧志駅前ほしぞら公民館	15	15	0	0	
内容	01	ワインマナー →ワインのたしなみ方、グループワークで人生計画							
	02	クッキング★お買い物大作戦 計画編→各グループで何を作るか？計画							
	03	琉球を堪能する→歴男塾 賀数仁然のトークで歴史に目覚める							
	04	クッキング★お買い物大作戦 実践編→各グループで買い物～調理まで							
講 師		前森 裕人、賀数 仁然、佐久川 春義							
【講座の様子・感想】									
・各回ごとにテーマが設けられ、楽しく受講できた。 ・本当に楽しい会でした。同世代というのが良いです。 ・小学校の家庭科以来、久しぶりにグループで調理しました。いい経験になりました。忘れないうちに家で豚汁作りしたいと思います。 ・アンケート（満足度）100% 									
【成果】									
・集うことの楽しさ、仲間づくりのきっかけという点で合致していた。 ・市報、チラシ、SNSなどアンテナにかかるであろう手段を使用した ・高齢化社会を見据えてのターゲットとして50～69才というターゲット層は良かったと考える ・回を重ねる毎に、グループで会話する姿は変化しており、最終回にいたっては笑顔で止まぬ団欒があったので、目指す姿に近づけたとみる。 ・今後もイケオジ倶楽部として活動することになった。また、今後も家で料理をするという文言がアンケートに見られたので、行動変容はあった。 									

2 成人一般対象事業

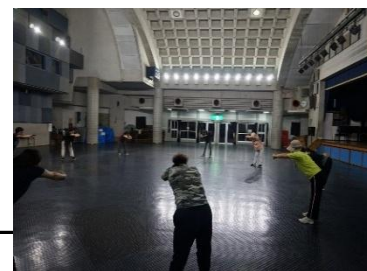
〔2〕成人講座

講座名 タイトル		特別講演会 「首里城と城下町～文化の交差点を眺める～」							
事業概要		沖縄県のシンボル「首里城」が焼失して5年が経とうとしている。再建を心待ちにしている人は多く、琉球・首里に思いを馳せる（別事業「イケオジ倶楽部」の一コマとする）。							
現状・課題		第5次那覇市総合計画の施策28、29「郷土の歴史、伝統文化・芸能にふれあい、新たな文化を創造するまちづくり」から、「自主的な学習」が伸び悩みが見られる。							
事業目的 めざす姿		首里城再建を目前にするため、市民がワクワクするような「首里」についての学習意欲を高めていく。聴講することにより、自主的に市の博物館などへ行く機会を助長する。（地域活性化とともに文化財の普及活動の充実を図る）							
対 象		那覇市内在住・在勤の人							
募集人数等		定員 50人 申込 115人 参加延べ 78人 【申込率230%・参加率87%】							
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン	
	01	3月2日(日)	14:00 ～ 16:00	牧志駅前ほしぞら公民館	78	40	38	0	
内容	01	琉球を堪能する→歴男塾 賀数仁然のトークで歴史に目覚める							
講 師	賀数 仁然								
【講座の様子・感想】									
・これまで知ることの少なかった首里の歴史を知ることができた。講師のお話がわかりやすく、楽しく拝聴できた。 ・首里に住んでいながら知らないことが多く、時折面白い話もありながら、興味深い貴重な話を聞くことができた。 ・アンケート結果（満足度）97%									
									
【成果】									
・もっと知りたい。もっと聞きたい。といった声がアンケートに多数あがっていることから、生涯学習の場を得ることができたと考える。 ・市民の友だけではなく、公民館HPやSNS、公共的な場へのチラシ配布など、様々な広報を選択した。 ・成人だけに限らず、老若男女の申込・来場者であった。 ・アンケートでは今後も学びを続けると答えた人が大多数であったため、行動変容はあったと考える。									
									

2 成人一般対象事業

〔2〕成人講座

講座名 タイトル		「首里城下町 Night walk」							
事業概要		ウォーキングする時の正しい歩き方を学び、心と身体 の健康維持のために、実際に歩く。毎回、正しい歩き方のレクチャーを受けた後、夜の首里地域を歩いてまわりながら正しい歩き方を実践する。							
現状・課題		那覇市民の一日に歩く歩数が、20歳から64歳が6000歩台、65歳以上の男女が5000歩前後（令和元年現在）である。「健康なは21」の運動習慣の定着に向けた啓発と実践への支援の一環で、歩くことの習慣化及び自身の体力や健康状態を知り、自分に合った運動に取り組むことで、1日に歩く歩数を増やし、健康寿命を延ばす。							
事業目的 めざす姿		正しい姿勢でウォーキングを行い、定期的に歩くよう「習慣化」できるよう促す							
対 象		那覇市在住在勤在学の18歳以上の人							
募集人数等		定員 20人 申込 20人 参加延べ 30人 【申込率100%・参加率50%】							
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン	
	01	9月11日(水)	19:00 ～ 21:00	首里公民館・首里地域	10	2	8	0	
	02	9月25日(水)	19:00 ～ 21:00	首里公民館・首里地域	9	1	8	0	
	03	10月2日(水)	19:00 ～ 21:00	首里公民館・首里地域	11	1	10	0	
内容	01	正しい姿勢での歩き方・自分の歩幅を知ろう・実際に歩いてみよう							
	02	1回目の復習・ストレッチ・目標心拍数							
	03	1、2回目の復習・ウォーキングと健康の関係について							
講 師		仲吉和美（那覇市ウォーキング協会）							
【講座の様子・感想】 ・ちゃんとした歩き方、運動の仕方とてもよくわかりました。 ・楽しくウォーキング出来たので機会があればまた参加したいです。 暑いので 歩くのは夜がいいです。ありがとうございました。 ・アンケート結果（満足度）90.9% 									
【成果】 ・正しい姿勢と歩幅、その年齢にあった歩数を学んだのち、普段歩くことのない夜の首里を実際に歩きながら学習したという点で合致した。 ・ターゲット層が見るであろう市報、新聞広告等を利用した。 ・ウォーキングや健康及び首里という地域に興味を持っている20歳以上が集まった。 ・受講当初よりも2回目、最終回と徐々に歩く姿勢が変化し、歩く速度も上がっている方が数名見られた。 ・今後もウォーキングを継続しますかとの問いに全員が続けるアンケートに記載があった。 									



2 成人一般対象事業

〔2〕成人講座

講座名 タイトル		大人の体験教室in首里公民館							
事業概要		モノづくりを通して、歴史や地域の自然、伝統文化を体感する。また、「作る」ことに集中することで、自分自身と向き合う時間を作り、日頃のストレスの発散や達成感を得る。							
現状・課題		親子向けに首里地域に特化した文化や自然環境について多面的に学習する講座を企画したところ、大人も学習したいという声があった。ただ座学で学ぶよりも実際に手を動かし、モノづくりを取り入れた講座にした方が、より理解が進むと考え、企画した。							
事業目的 めざす姿		講座で取り上げた歴史や文化、自然等を継続して学習する。							
対 象		那覇市在住在勤在学の20歳以上の人							
募集人数等		定員 30人 申込 34人 参加延べ 34人 【申込率113%・参加率25%】							
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン	
	01	10月24日(木)	14:00 ～ 16:00	suikara	11	0	11	0	
	02	10月31日(木)	14:00 ～ 16:00	首里公民館	0	0	0	0	
	03	11月7日(木)	14:00 ～ 16:00	首里公民館	13	0	13	0	
	04	11月14日(木)	14:00 ～ 16:00	首里公民館	10	0	10	0	
内容	01	首里織の染料でショールを染める！							
	02	昔遊び！～蛇を作る～※中止							
	03	蜜蝋deキャンドルとクリームを作る！							
	04	プリザーブドフラワーを体験する！							
講 師		東恩納朋子・與那嶺香奈江（那覇伝統織物事業協同組合）、与儀千鶴子（沖縄県沖縄語普及協議会）、新垣伝・新垣晴子（新垣養蜂園）、川間佳子（那覇市社会教育指導員）							
【講座の様子・感想】									
・みつろうは日常で使っていてとても好きな保湿剤なので、自分で、作れて嬉しいです。大切に使います。また、ハチについても学べたので、今では積極的にハチミツやみつろうを日常に取り入れたいと思いました。 ・アンケート結果（満足度）84.8%									
【成果】									
・それぞれの回で取り上げた内容の座学及びモノづくり体験を通して、学ぶことができた点で合致していた ・市報、公民館HP、チラシ等を配布し、ターゲット層に届くであろう媒体を使用した。 ・那覇市在住在勤在学の首里の文化や自然、歴史が好きでモノづくりに関心を持っている方をターゲットとした。 ・今後とも学習を続けたい、さらに学べるところがないかとアンケートに記載があった。 ・講座終了に受講生同士で連絡を取り合い、講師が行っているワークショップを受講し、さらに学びを深めた方がいた。									



3 高齢者対象事業

〔1〕高齢者学級

講座名 タイトル		シニア学級『初めて触る！スマートフォン講座』						
事業概要		デジタル技術の進歩に伴い、インターネットやスマートフォン等を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差（デジタル・ディバイド）が広がっている。那覇市のDX推進計画では、デジタルを不得手とする市民に対して機器類を使いこなすことができるよう取り組むことを挙げている。誰もがデジタルの恩恵を受け、デジタルリテラシー（デジタルに関する知識や能力を活用する力）を身に着けるための入門編として、DX推進室の協力の元、スマートフォン講座を開催する。						
現状・課題		内閣府「情報通信機器の利活用に関する世論調査」（R2.10）によると60歳以上のシニア層では、半数以上がスマートフォンやタブレットを不要とし、4割近くが使い方がわからないとある。デジタル化が進む中で、「使いこなせない」ことの問題を解消する。						
事業目的 めざす姿		座学と実機体験を交えた講座を開設し、スマートフォンでよく利用されているアプリケーション（地図とLINE）の使い方を学び、利用者自身で使えるようになる。						
対 象		那覇市在住在勤の60歳以上						
募集人数等		定員 40人 申込 58人 参加延べ 33人 【申込率145%・参加率83%】						
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	4月24日(水)	10:00 ～ 11:30	首里公民館	17	4	13	0
	02	5月15日(水)	10:00 ～ 11:30	首里公民館	16	4	12	0
内容	01	【座学編】携帯電話とスマートフォンの違いについて【実機体験編】. スマートフォンならではの楽しみ方について						
	02	【座学編】携帯電話とスマートフォンの違いについて【実機体験編】. スマートフォンならではの楽しみ方について						
講 師		又吉 岐吏子（ソフトバンクスマホアドバイザー）						
【講座の様子・感想】								
・これからの時代、シニアはスマホが必要、この様なスマホ教室、初級、中級、上級の講座をやってほしいです。 ・老人向けのスマホの講習を増やしてほしい。 ・アンケート結果（満足度）70%								
【成果】								
・座学及び実機を使って、代表的なアプリの使い方を学習できたという点で合致した。 ・シニア層がよく利用する広報媒体が「市民の友」を利用し、定員を超える人数の応募があった。 ・60～80代のスマートフォンの操作に苦手意識があったり、購入を検討している方をターゲットとした。 ・アンケートにスマホのことがよりわかりやすくなったと記載があった。 ・受講をきっかけに、よりスマートフォンについて学びたいという声があった。								





3 高齢者対象事業

〔1〕高齢者学級

講座名 タイトル		シニア学級 「スマートフォン講座（初心者向け）」							
事業概要		デジタル技術の進歩に伴い、インターネットやスマートフォン等を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差（デジタル・ディバイド）が広がっている。那覇市のDX推進計画では、デジタルを不得手とする市民に対して機器類を使いこなすことができるよう取り組むことを挙げている。誰もがデジタルの恩恵を受け、デジタルリテラシー（デジタルに関する知識や能力を活用する力）を身に着けるための入門編として、スマートフォン講座を開催する。							
現状・課題		内閣府「情報通信機器の利活用に関する世論調査」（R5.7）によると60歳以上のシニア層では、35%以上がスマートフォンやタブレットを不要とし、40%近くが使い方がわからないとある。デジタル化が進む中で、「使いこなせない」ことの問題を解消する。							
事業目的 めざす姿		スマートフォンでよく利用されているアプリケーション（YouTube、LINE、ビデオ通話、QRコード、地図、音声入力）の使い方を中心に学ぶ。							
対 象		那覇市在住在勤の60歳以上							
募集人数等		定員 20人 申込 27人 参加延べ 52人 【申込率135%・参加率87%】							
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン	
	01	9月9日(月)	13:00 ～ 15:00	首里公民館	20	4	16	0	
	02	9月11日(水)	13:00 ～ 15:00	首里公民館	16	4	12	0	
	03	9月13日(金)	13:00 ～ 15:00	首里公民館	16	4	12	0	
内容	01	①インターネット検索 ②YouTubeの利用法							
	02	③LINE（写真の保存と送り方、地図の送り方） ④音声入力							
	03	⑤MAP（ナビの使い方、バスに乗る時間の見方）、⑥Googleレンズの使い方、⑦QRコードの使い方							
講 師		房前三男（那覇市シルバー人材センター）							
【講座の様子・感想】 ・スマートフォン講座の受講回数がもっとあったらいいと思いました。3回では少ないと感じた。 内容・説明はとても良かったのですが自分のスマホとはやや違いがあるので、理解しにくい所が多く、とまどいました。講師やスタッフの皆様が挙手をするとすぐ来て下さって個別の指導して下さいました。ありがとうございました。最後にしっかり復習して使いこなしたいと思います。									
・アンケート結果（満足度）92.8%									
【成果】 ・スマートフォンで多用するアプリケーションの使い方をほぼ一通り、学べるという点では合致した。 ・ターゲット層が目にしやすチラシ、市報に掲載した。 スマートフォン初心者及び購入予定者の60代～80代をターゲットにした。 ・4月、5月に1回完結のスマートフォン講座を行うも受講生から1回では覚えきれないという声があり、週3回のスマートフォン講座を実施した。1回よりは満足度は高いものの、操作に不安を感じる方が一定数見受けられた。 ・今回の受講だけでは足りず、さらに学びたいとアンケートに記載があった。									







3 高齢者対象事業

〔1〕高齢者学級

講座名 タイトル		「守礼大学」～王都首里めぐり～						
事業概要		王都首里にふさわしい御殿・殿内の屋敷跡や首里に多く存在する拝所の御嶽・自然の景観を活かした名勝地などを実際に歩いて観て廻り、健康的に楽しく学習する。						
現状・課題		首里城や玉陵といった世界遺産は、観光地として人気があり、観光ガイド等でも学習することができるが、首里一帯の御殿や殿内や御嶽を一通りまとめて学習する機会はあまりない。						
事業目的 めざす姿		首里地域にある歴史的建造物や名勝地などについて学習し、知見を深める。						
対 象		那覇市在住在勤在学の60歳以上						
募集人数等		定員 20人 申込 45人 参加延べ 94人 【申込率225%・参加率94%】						
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	11月15日(金)	9:00 ～ 11:30	首里公民館	19	5	14	0
	02	11月22日(金)	9:00 ～ 11:30	首里公民館	18	5	13	0
	03	11月29日(金)	9:00 ～ 11:30	首里公民館	20	5	15	0
	04	12月13日(金)	9:00 ～ 11:30	首里公民館	18	5	13	0
	05	12月20日(金)	9:00 ～ 11:30	首里公民館	19	5	14	0
内容	01	・第1回(11/15)：開講式・首里城(有料地域除く)周辺・玉陵						
	02	・第2回(11/22)：赤田町・崎山町・鳥堀町						
	03	・第3回(11/29)：汀良町・赤平町						
	04	・第4回(12/13)：大中町・桃原町						
	05	・第5回(12/20)：当蔵町・閉講式						
講 師		宮城俊次(NPO法人那覇市街角ガイド)						
【講座の様子・感想】								
・宮城先生のガイドがとても解り易く、首里城の裏話しも興味を誘うもので楽しく受講させて頂きました。又、宮城俊次先生の講和がありましたら是非ご紹介して頂きたいです。いっぺーにふえーでーびたん！有難うございました。 ・アンケート結果(満足度) 100%								
【成果】								
・2時間以上歩きながら世界遺産や名勝地などを学習したという点で合致した。 ・市報や新聞の広報も利用し、定員の2倍以上の応募があった。 ・那覇市在住在勤在学の60歳以上の琉球の歴史、首里地域の遺産等に興味関心のある方をターゲットとした。 ・講座終了後も講師に質問をされる方が毎回複数名いて、最終回の終了後は、大半の受講生が残って質問し、講師の解答解説を熱心に聞いている方が何人も見られた。 ・「更に学びを深めたい」とアンケートに記載があり、学習意欲の向上が見られた。								





4 青少年対象事業

〔1〕少年教室

講座名 タイトル		少年教室 首里公民館に遊びにおいでよ！＊ IN夏休み＊ 《子どもの居場所》							
事業概要		地域の子供達との「居場所」として公民館の展示室を提供し、子供同士や地域の人（利用団体など）との関わりができる場を確保する。							
現状・課題		首里公民館では子供の居場所を行なっていない。							
事業目的 めざす姿		公民館展示室の利用が無い曜日・時間を活用し、地域の子供達の居場所を作る。学年・学校に関係なく子供達同士や地域の人が声をかけて顔見知りになることによって、お互い意識の変化が生じることを期待する。また、学校が休み（夏休み）の子供達に場所を提供する事により安心感だけでなく、子供達の安全面にも貢献できると思われる。							
対 象		近隣の小学校児童							
募集人数等		定員 30人 申込 30人 参加延べ 30人 【申込率100%・参加率100%】							
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン	
	01	8月15日(金)	10:00 ～ 13:00	首里公民館 展示室	30	11	19	0	
	02	7月25日～ 8月2日 毎週木曜日	9:00 ～ 16:00	首里公民館 ホール	-	-	-	0	
内容	01	絵画・工作・ニューススポーツ教室							
	02	ホール自由開放							
講 師		【絵画教室担当】絵画教室「芭蕉布」 毛呂 文子（もろ ふみこ） 【工作教室担当】平和朗読・首里 与儀 千鶴子（よぎ ちづこ） 【ニューススポーツ教室担当】那覇市スポーツ推進員 【助手】沖縄県立芸術大学生等 2人							
【講座の様子・感想】		・かんのフタでへビを作るのと、パズルに絵を描いたのがたのしかった。 ・わなげが楽しかった ・アンケート結果（満足度）100% 							
【成果】		・初の企画であったがこども達が楽しんでいた様子が伝わった。 ・小学校へ直接チラシを配布したためこども達への周知が効果的だった。 ・居場所作りの第一歩となった。 ・様々な遊びをしてみたいとの声もあったので今後はレパトリーを増やしてみたい。 							

4 青少年対象事業

〔1〕少年教室

講座名 タイトル		【宿泊教室】森の家みんなんで楽しく自然体験！！								
事業概要		身近な自然を体感しながら、異年齢の交流を深めるとともに、創造性あふれる活動を通して、自然の大切さや豊かな感性を育む。								
現状・課題		なかなか自然に触れる機会や場所が少ない								
事業目的 めざす姿		異年齢の交流を深め、様々な人との交流を楽しんでもらう。直に体験しながら自然への学びのきっかけにつなげたい。								
対 象		那覇市内の4年生から6年生で、現地集合解散の為、保護者の送迎が可能な方								
募集人数等		定員 15人 申込 10人 参加延べ 9人 【申込率67%・参加率100%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	10月12日～13日	13:00	～	12:00	森の家 みんな	9	4	5	0
内容	01	森の指令ゲーム 夕食(カレー)作り 季節の観察会 プロジェクトWILD・WET								
講 師		藤井晴彦、那覇市社会教育指導員OB会								
【講座の様子・感想】 ・すべての学習がたのしく学べて、とてもいいけいけんになったと思います。また、参加したいと思いました。 ・ホタルやナマズ、フクロウなどいろいろな生物がみれてたのしかった。 ・アンケート結果（満足度）100%										
【成果】 ・自然に触れながら楽しんでいるこども達の様子が印象的だった ・市民の友から申し込みされている方が多かった。 ・家庭では体験できない貴重な機会作りになった。 ・また参加したいという意見が多かったので継続していくことが大事だと思った。										





4 青少年対象事業

〔2〕青年講座

講座名 タイトル		Bistrot 首里 2024								
事業概要		市場、商店街に青年が足を運ぶ機会を作り、実際に集まりコミュニケーションを取る喜びを体験し、仲間づくりへと促していく。また、各回において首里がキーワードになる食材等を入れることにより、首里への関心を引く。各回、グループ編成を行い、できるだけ多くの人と話す機会を設けて調理を実施する。前年度好評だった企画であり、今年度もブラッシュアップしていく。								
現状・課題		令和3年度那覇市民意識調査報告書の調査結果概要（8）によると、マチグワー等の中心市街地商店街へ行く頻度は、「年 1～2 回」が最も多い。「全く行かない」と「年1～2回」を合わせると、7割強となっており、中心市街地商店街へ殆ど行かない市民の割合が増加傾向にある。								
事業目的 めざす姿		・男女参画という視点で、性別を問わず家事（炊事）に関心を持ってもらう ・事業終了後、受講生同士が自主的にコミュニケーションをとれるようになること。 ・次年度の企画に関わるモチベーションを持つ者を発掘すること。								
対 象		那覇市在住・在勤、在学 20歳以上30代までの青年								
募集人数等		定員 12人 申込 38人 参加延べ 44人 【申込率317%・参加率86%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	11月30日(土)	13:00	～	16:00	公設市場 3 階 調理実習室 多目的室小	16	5	11	0
	02	12月21日(土)	13:00	～	16:00	公設市場 4 階 調理実習室 多目的室小	14	4	10	0
	03	1月11日(土)	13:00	～	16:00	公設市場 5 階 調理実習室 多目的室小	14	4	10	0
内容	01	ワインに合う料理を作る								
	02	ビールに合う料理を作る								
	03	日本酒に合う料理を作る								
講 師		佐久川奈津子（soseami）、佐久川春義（和食とワイン小太郎）、藤 克朗（パンビーノ前オーナー）、谷本拓也（茶屋. 小料理たにもと）								
【講座の様子・感想】 ・異業種の方と関わって、お酒をテーマの料理を作れ、食べることが人生の刺激になりました。料理の楽しみ方、色々な人と関りがとても楽しかったです。次回も参加したいと強く思いました。3回とも楽しく受けられて嬉しかったです。ありがとうございました！ ・料理のハードルが下がりました。牧志公設市場が観光でなく、市民でも使えることがわかり、良かったです。 ・アンケート結果（満足度）100%										
【成果】 ・全ての者が笑顔で活動し、市場を知らしめることができたので目的を達成していた ・広報手段は、Instagramを活用し、シェアしてもらうことで青年層へ広報できたと考える。 ・すべての申込者が20代～30代であった。 ・回を重ねる毎に会話も増え、最終回は自主的に懇親会を開催していたので、目指す姿に近づけたといえる ・アンケートでは家で料理してみたいとあった。また、別日に大人数で集合していることも行動変容といえるのではないだろうか。										







4 青少年対象事業

〔3〕親子ふれあい事業

講座名 タイトル		親子で「首里」を楽しもう！～首里の自然・文化に触れてみよう～						
事業概要		首里にある伝統的な文化、産業、自然をそれぞれの観点からモノ作りを通して学習する。						
現状・課題		首里地域に特化した文化や自然環境について多面的に学習する機会があまり無い。郷土の自然と文化に誇りをもち、個性豊かで創造性・協調性に富む人材の育成の観点から本講座を企画した。						
事業目的 めざす姿		首里の文化、自然をそれぞれの視点から体験学習を通して、親子一緒に学びながらコミュニケーションを深める。						
対 象		那覇市内の小学校に通う児童とその保護者						
募集人数等		定員 10人 申込 27人 参加延べ 56人 【申込率270%・参加率187%】						
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	7月27日(土)	13:30 ～ 16:00	首里公民館	20	6	14	0
	02	8月3日(土)	13:30 ～ 16:00	suikara	18	4	14	0
	03	8月17日(土)	13:30 ～ 16:00	首里公民館	18	6	12	0
内容	01	首里の文化①「陶芸体験！面シーサーを作ってみよう」						
	02	首里の文化②「首里織に触れてみよう（ハンカチ染めを体験しよう）」						
	03	首里の自然 「蜜蝋キャンドルを作ってみよう」						
講 師	比嘉文音・田口春花（沖縄県立芸術大学大学院生）、普天間ゆかり・佐藤 優（那覇伝統織物事業協同組合）、新垣伝・新垣晴子（新垣養蜂園）							
【講座の様子・感想】								
・とても親子で楽しい時間をすごすことが出来ました！ありがとうございました！伝統工芸や染め織りに、興味がわきました。 ・時間がゆっくりとられていて良かった。先生が子どもの思いを上手にうけとってくれて自由にのびのびできました。講師の先生がやさしくて、適度にアドバイスもありよかったです。 ・アンケート結果（満足度）92.7% 								
【成果】								
・親子で話し合い、試行錯誤しながら作品を作っていたという点で合致した。 ・興味関心を持つターゲット層がよく見るであろう市報やチラシ、公民館HPから広報を行い、定員の2倍以上の応募があった。 ・「とても親子で楽しい時間をすごすことが出来ました！伝統工芸や染め織りに、興味がわきました。」や「親子で話し合いながらクイズをしたり、キャンドル作りなど初めての体験や知識が多く、とても楽しめました。」とアンケートに記載があり、伝統工芸や自然に興味を持つ事ができ、親子で楽しくコミュニケーションが取れたと考える。 ・「親も勉強になり楽しめました。もっとこれからも続けて行ってほしいです。」や「これから蜂に出会っても必要以上に怖がらず見守ることができそうです。最初はハチミツ苦手と言っていた子どももハチミツのおいしさに気付けたようです。」と児童のみならず保護者にも気づきや学ぶ機会となり、親子共に学んだ事が今後の生活に役立つ内容であった。 								



5 家庭教育事業

〔1〕家庭教育学級

講座名 タイトル		NOと言えない おとな達 学校に行けない子ども達							
事業概要		不登校児童生徒の数は沖縄だけではなく全国的に増え続けている（コロナ禍で生活リズムが乱れがちになることも原因の一つ）。家庭教育として親ができること、学校や地域ができることなど、市民に対して情報を提供しつつ、不安解消へと近づけていく。今年度は全回共通で「叱らない子育て」に着目する。							
現状・課題		・ 沖縄県小中学生の不登校5762人（全国ワースト） ・ 小中高生の自家用車による送迎率は全国でトップ→渋滞は全国大都市並 ・ スクールゾーンの設定率は全国最低 ・ 体力テストは全国平均に達しない							
事業目的 めざす姿		子どもへ叱らない、指摘しない、子どもの送迎をするなど、保護者が「子どもの経験値」を大きく損ねている事に気づく学びとなる。損なわれている経験値が、今後の子どもの何に関係するのか？を考える機会とする。							
対 象		那覇市内在住・在勤・在学で、テーマについて知りたい人							
募集人数等		定員 30人 申込 32人 参加延べ 77人 【申込率107%・参加率80%】							
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン	
	01	10月19日(土)	10:00 ～ 12:00	首里公民館展示室	25	5	20	0	
	02	11月2日(土)	10:00 ～ 12:00	首里公民館展示室	29	5	22	2	
	03	11月16日(土)	10:00 ～ 12:00	首里公民館展示室	23	3	20	0	
内容	01	沖縄の不登校現況について							
	02	子どもを叱るって悪いこと？							
	03	沖縄の子育てを考える（手放す子育てを考える）							
講 師	西本 裕輝（琉球大学 教授）、藪下 遊（「叱らない」が子どもを苦しめる著者）								
【講座の様子・感想】									
・とても良い内容だった。保護者や教育関係者により多く受講してもらうために繰り返し開催されると良いと思うのと同時に、イベントの広報を工夫すると、もっと多くの方が有益な情報を得られると感じた。 ・今回の講座は3回とも非常に勉強になること、日常にも活かしたいと思えることばかりだった。 ・アンケート結果（満足度）96% 									
【成果】									
・新たな視点・気づきがあったという感想が多かった ・広報を工夫して、もっとたくさんの人の参加が欲しいという声があった ・教育関係者の参加も多くみられた。子どもに関係している部署へ広報を強化しても良いと思った ・これまで取り上げたことのなかった視点なので、受講者・講師双方に刺激になったと考える。 ・アンケートでは「さっそく取り入れたい」「周りに学びをシェアしたい」とあったので、変容は大きいと推測できる  ※職業分類について→その他は教育関係者4名									



5 家庭教育事業

〔1〕家庭教育学級

講座名 タイトル		おとなのじぶん研究（子育てにもつながる行動計画）								
事業概要		自分の思考と認知の癖を知ると共に、自分自身の過去を振り返り、今を見つめ、未来を考える。その後、なりたい自分とはどんなものか、子育てにどう繋げていくかを学習する。								
現状・課題		中教審「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」（h23）に、「人は、他者や社会とのかかわりの中で、職業人、家庭人、地域社会の一員等、様々な役割を担いながら生きている。人は、『働くこと』を通して、人や社会にかかわることになり、そのかかわり方の違いが『自分らしい生き方』となっていくもの」とある。 家庭教育において、キャリア教育の基礎となるのは、身近な大人である「親の背中」を見る事である。親自身が自分自身を知り、生き方を考え、これからの人生をどう過ごすか前向きに捉える事で、子どものキャリア教育につながるのではないか。								
事業目的 めざす姿		じぶん研究とは、「こんなことをしたい」と思っている大人が本当にしたい事を見つけ出し、わくわく生きている姿を子どもに見せることが、大事ではないかと考える。 まずは、自分が何をしたいのか、自分の得意は何か？自分がどう生きたいかを考えるきっかけになるのが「じぶん研究」を行う。								
対 象		那覇市在住在勤在学の人								
募集人数等		定員 12人 申込 11人 参加延べ 22人 【申込率92%・参加率67%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	1月10日(金)	14:00	～	16:00	首里公民館	8	0	8	0
	02	1月17日(金)	14:00	～	16:00	首里公民館	7	0	7	0
	03	1月24日(金)	14:00	～	16:00	首里公民館	7	0	7	0
内容	01	自分の思考や認知の癖を知る（内省する時間）								
	02	子どもの頃、大人の今、未来の自分								
	03	なりたい自分になるための1歩を行動に移すための計画を立ててみる（ワクワク体験）								
講 師		平良和（言語聴覚士）								
【講座の様子・感想】										
・この期間に自分のことを振り返ることができて良かった。 ・ゆっくりと自分の人生（これまでとこれから）をふり返り、考えることができて、とても楽しかったです！ ・アンケート結果（満足度）71.4%										
【成果】										
・これまでの自分自身を振り返り、今の自分を見つめ、今後の人生プランをどう展開し、子どもにどう見せるかという点で合致した。 ・ターゲットが目にする媒体である市報やチラシを中心に子育て中の保護者が集まりそうな施設に配布した。 ・自分の事を振り返ったり、気づくことができた複数名から感想があった。 ・再度受講したいとアンケートに記載があった。										





5 家庭教育事業

〔2〕乳幼児学級

講座名 タイトル		がんばらない育児 ～ with baby ～						
事業概要		小さな子を育てている保護者の不安を和らげ、役割や義務感ではなく、子に関心をもつことの大切さや喜びを伝えることを狙いとする。家庭教育のスタートとして、楽しみながら意識を高めていく。						
現状・課題		「第5次那覇市総合計画基本計画」施策15によると、産後に「うつ症状があった」とする人が3割近くおり、健康問題が顕在した後にサービスにつながる妊産婦が多く、早期に支援が必要な妊産婦の把握と支援が求められている。また、乳幼児健診の受診率は、2015(平成27)年度乳児健診91.9%、1歳6か月健診85.9%、3歳児健診81.2%と、特に3歳児健診の受診率が低く、受診者の中には、発達障がいに関する相談や、不規則な生活習慣、むし歯についての問題を抱えている子どもがいてとされている。						
事業目的 めざす姿		「第5次那覇市総合計画基本計画」施策15では「全ての親と子が、地域とのつながりを感じ、安心して出産子育てに取り組めるよう、乳幼児の健康支援から子育て支援サービスへつながる包括的な支援サービスの充実を図る」とある。そこで、本事業によって「安心できる子育て」「夫婦で楽しむ子育て」を学ぶ機会とする。						
対 象		那覇市在住または在勤の乳幼児（4ヶ月～12ヶ月）を持つ保護者						
募集人数等		定員 15人 申込 15人 参加延べ 93人 【申込率100%・参加率155%】						
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	乳幼児
	01	6月1日(土)	10:00 ～ 12:00	首里公民館	31	5	12	14
	02	6月8日(土)	10:00 ～ 12:00	首里公民館	14	4	10	0
	03	6月15日(土)	10:00 ～ 12:00	首里公民館	14	4	10	0
	04	6月29日(土)	10:00 ～ 12:00	首里公民館	34	6	13	15
内容	01	音楽と声と絵のお話の時間						
	02	アンガーマネジメント ★バイバイ♪イライラ						
	03	大人も癒される絵本の魅力						
	04	ネンネ術						
講 師		演劇企画ユニット「ユニココ」、座覇太美子（リンクライフ株式会社）、松川まゆみ						
【講座の様子・感想】		・人との関わりがあって、話を聞くことがとても少なくなっていたので（育児前は）改めて心と脳に響く機会に会えて良かったです。また、こんなんでいいんだ一つということに気づけて良かったです。 ・妻についてただけですが、知らなかったことが知れたり子供が喜んでいたり、自分の子どもの頃を振り返れて良かった。 ・アンケート結果（満足度）100%						
【成果】		・参加者同士、夫婦などそれぞれで同じ時間を楽しんでいる姿は目的達成の手段として合致していた。 ・市SNSや市報、チラシなど幅広く広報できたと考える。 ・講座終了後も講師や受講者同士で話す姿が見られた。						



6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		(秋休み特別企画) 茶の湯（茶道）を体験しよう！								
事業概要		茶道における礼儀作法やお茶の運び方、出し方等を学ぶ								
現状・課題		学校教育や家庭教育のなかで、礼儀作法や客のもてなし、所作、相手への気遣い、文化や歴史等をいっぺんに学ぶということは難しい。茶道を通して、上記の事柄を学ぶ。								
事業目的 めざす姿		日本の伝統文化の一つである「茶道」を体験することで、礼儀作法や歴史・文化を学び、お茶で使われる道具類（花、陶器、和菓子）に触れる事で美意識を養う。また、12月の公民館まつりにて、講師と共に体験会を催し、御茶を点てる、運ぶ、和菓子の配膳といったことを講師と共に出来るよう促す。								
対 象		那覇市の小学校に通う3年生から6年生								
募集人数等		定員 20人 申込 24人 参加延べ 38人 【申込率120%・参加率95%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	10月17日(木)	14:00	～	16:00	首里公民館	19	4	15	0
	02	10月18日(金)	14:00	～	16:00	首里公民館	19	4	15	0
内 容		01 1. 開講式 2. 茶道ってなあに？ 3. 抹茶ってからだにいいの？ 4. お点前ってなあに？ 02 5. どうやって飲むの？ 6. お菓子 7. 実際にお茶を点ててみよう								
講 師		土屋 恭子（（一社）裏千家淡交会沖縄支部沖縄学校茶道連絡協議会）								
【講座の様子・感想】 ・お茶をたてるのがむずかしかったけど、楽しかった。おかしがおいしかった。 ・初めての経験だったので、きんちょうしたけど、しせいやおじぎなどをていねいに教えて下さったので、楽しかったし、良い経験だったと思います。 ・アンケート結果（満足度）89.4%										
【成果】 ・茶道における礼儀作法を学ぶことができたという点で合致した。 ・市報や那覇市の広報（LINE）のみならず、近隣の小学校中～高学年のクラス毎にチラシを配布した。 ・茶道に興味関心を持つ那覇市の小学校に通う3～6年生20人 ・「お茶をたてることや歩き方をおそわった事、お礼のしかたやあいさつを学ぶことができて楽しかった」とアンケートに記載があった。 ・6割以上の受講生が茶道を継続して学びたいとあった。										







6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		首里公民館まつり茶会						
事業概要		(一社) 裏千家淡交会沖縄支部沖縄学校茶道連絡協議会協力の下、10月に行った地域連携事業「茶の湯(茶道)を体験しよう！」で学習した受講生(小学生 3～6 年生)と共に 首里公民館まつりでお茶会を行う。 10月の講座を受講した小学生は、講師からお茶の点て方、運び方、和菓子の配膳、順番を待つ客への案内等を 習う事で、おもてなし やイベントを開催する際の手順や進行を 実践的に学習する。またお茶会に参加する一般参加者は、お茶会を通して礼儀作法や歴史・文化を学び、お茶で使われる道具類(花、陶器)に触れ、和菓子を食す事で美意識を養う。						
現状・課題		これまで公民館講座で学んだ事を活かす機会があまり無く、公民館まつりという地域住民が集まりやすい環境の中で実践するとともに、地域の方々にも茶道の礼儀作法や歴史文化に触れる機会にしたい。						
事業目的 めざす姿		(「茶の湯(茶道)を体験しよう！」で学習した受講生)講師からお茶の点て方、運び方、和菓子の配膳、順番を待つ客への案内等を習う事で、おもてなし やイベントを開催する際の手順や進行を 実践的に学習する。 (講座参加者) 茶道を通して、礼儀作法および茶の湯の歴史・文化に触れる。						
対 象		那覇市内在住・在勤・在学の人						
募集人数等		定員 60人 申込 36人 参加延べ 36人 【申込率60%・参加率60%】						
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	12月7日(土)	12:00 ～ 12:30	首里公民館和室	12	2	10	0
	02	12月7日(土)	13:00 ～ 13:30	首里公民館和室	4	3	1	0
	03	12月7日(土)	14:00 ～ 14:30	首里公民館和室	16	2	14	0
	04	12月7日(土)	15:00 ～ 15:30	首里公民館和室	4	1	3	0
内容	01	「茶の湯(茶道)を体験しよう！」で学習した受講生 【実践】お茶の点て方、運び方、和菓子の配膳、礼儀作法、お茶、和菓子の食し方 講座参加者 【講座】茶の湯の歴史・文化に触れる 【実践】礼儀作法、お茶、和菓子の食し方 ※すべての回で同じ内容で行った						
	02							
	03							
	04							
講 師		泉川幸子 (一社) 裏千家淡交会沖縄支部沖縄学校茶道連絡協議会)						
【講座の様子・感想】 ・基本的な説明をいただきながら、おいしくお茶が飲めました。 ・初めて茶会に出席。いろいろ習うことが多く、新鮮な気分。初めてとはいえ、いろんな出会いがあった。 ・アンケート結果(満足度)100%								
【成果】 ・10月の講座で学んだ事を実践すると同時に、地域の方々に茶道を体験していただくことができたという点で合致した。 ・公民館まつりの他のセクションの準備等で、広報が遅れてしまい十分な広報が出来たとは言えない。 ・「お茶の作法が学べた」、「お茶をたてたり、おかしをたべたり、おきやくさんにくばるなど、ふだんできないことができた(児童)」という声があり、目指す結果になったと考える。 ・「自分も習ってみたい」、「心が穏やかになった」とアンケートに記載があった。								





6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		「んかし（昔）遊び～へびを作る！～in首里公民館まつり」								
事業概要		モノづくりを通して、沖縄の昔あそびや、うちなーぐちを学ぶ。「作る」ことに集中することで、自分自身と向き合う時間を作り、日頃のストレスの発散や達成感を得る。その後、戦前戦後のモノの無い時代に遊ぶ道具を子ども自らが作り、どのように遊んでいたかをうちなーぐちでの解説やわらべうたなどを通して学習する。								
現状・課題		平成25年に行った「しまくとうば県民意識調査」において、県民は「しまくとうば」への親しみを持っている反面、「しまくとうば」を主に使う人が、全体で10%となっており、更に、若年層ほど「しまくとうば」が使えない状況が顕著となっている。								
事業目的 めざす姿		講座で学んだうちなーぐちを家庭や地域で使用するにより、うちなーんちゅのアイデンティティである「うちなーぐち」の使用頻度を上げると共に、モノづくりの材料が缶のプルタブやフェルトといった身近に存在するものであることから日常にありふれるモノから何か作れないか、どうやって作るか、遊ぶかといった事を考えるきっかけをめざす。								
対 象		那覇市在住在勤在学の人（年齢不問）								
募集人数等		定員 30人 申込 13人 参加延べ 13人 【申込率43%・参加率100%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	12月7日(土)	13:00	～	16:00	首里公民館ロビー	13	5	8	0
内容	01	んかし（昔）遊び！～蛇を作る～ ①空き缶のプルタブとフェルトを用いて、へび作り ②戦前戦後の沖縄の子どもらの遊びやうちなーぐち、わらべうたなどについて学ぶ								
講 師	与儀千鶴子（沖縄県沖縄語普及協議会）									
【講座の様子・感想】										
・公民館でテーブルの上に飾られているのを見て、材料を集めて自分で作ってみたいのですがなかなか出来なくて。 ・フェルトを入れる向きとか難しかったけどできたとき楽しかった。 ・アンケート結果（満足度）92.3%										
										
【成果】										
・身近にあるものからへびを作るということに関しては合致していた。 ・公民館まつりのチラシには記載したが、講座のみの広報がチラシ（フライヤーのみ）だったので、次回開催する場合は、市民の友や新聞への掲載も検討する。 ・特に年齢制限を設けず、受講希望者全員を受け入れた。 ・受講後、家でも作ってみるとアンケートに記載があった。 ・受講前に自身で道具を揃えて作ってみるも完成しなかったが、受講したことで作り上げることができたという受講生がいた。										
										

6 その他の事業

〔2〕地域学習支援講師派遣事業

年間の派遣件数：4件

派遣先：下表のとおり

1	申請団体	家譜サークル
	事業名	講師を招聘し学習する事業
	学習内容	首里城・琉球王国・首里三王統
	開催日時	令和6年8月5日（月） 14:00～16:00
	開催場所	首里公民館 視聴覚室
	講師名	下地 昭榮
	参加人数	50人
	学習報告 (成果、反省等)	首里城を拠点とした、琉球王国の三王統（察度・第一尚氏・第二尚氏）について、歴史資料・考古資料・伝承から学んだ。

2	申請団体	家譜サークル
	事業名	講師を招聘し学習する事業
	学習内容	大正期の首里における組踊の振興とその伝承
	開催日時	令和6年8月19日（月） 14:00～16:00
	開催場所	首里公民館 視聴覚室
	講師名	伊良波 賢弥
	参加人数	32人
	学習報告 (成果、反省等)	①琉球王国解体後の組踊の歴史・伝承 ②首里では市制施行をきっかけに研究会（保存会）が結成され上演が活発になったこと ③現在、「舞台派・商業演劇系」と「古典派・首里系」の2つの系譜があること等を学んだ。

3	申請団体	家譜サークル
	事業名	講師を招聘し学習する事業
	学習内容	崇元寺の諭祭について
	開催日時	令和6年9月2日（月） 14:00～16:00
	開催場所	首里公民館 ホール
	講師名	伊集 守道
	参加人数	76人
	学習報告 (成果、反省等)	諭祭のスケジュール 諭祭の具体的な執行状況等について学んだ。

4	申請団体	家譜サークル
	事業名	講師を招聘し学習する事業
	学習内容	山川陵の歴史
	開催日時	令和6年10月7日（月） 14:00～16:00
	開催場所	首里公民館 ホール
	講師名	鈴木 悠
	参加人数	83人
	学習報告 (成果、反省等)	山川陵の遺構確認調査及び歴史文献資料にもとづく構造や被葬者について学んだ。

7 公民館まつり

第41回 首里公民館まつり



第41回

首里公民館まつり

～身近な文化活動、広げよう、迎えよう、出会いの公民館～

12月7日(土)・8日(日) 開催

【土】10:00～17:00 【日】10:00～16:00	展示発表(1階ロビー、ホール)
10:00～16:00	軽食コーナー(1階ピロティ) <u>(売り切れゴメン!)</u> ★papoter_pepin ★金城ベーカリー ★MAL 食堂 ★こんちわ ★首里更生保護女性会 ★那覇市社会教育指導員OB会
13:00～16:00	んかしあそび(1階ロビー)

12月7日(土)

10:30～11:00	オープニングアクト 鳥堀創作芸能団(エイサー) オープニングセレモニー(1階ホール)
11:00～12:00	子どもフェスタ(1階ホール) 5団体(裏面参照)
12:00～16:00	お茶会(3階和室)
13:00～14:00	お楽しみ福引抽選会(1階ホール)
16:00～18:00	社交ダンスパーティ(1階ホール)

12月8日(日)

10:00～12:00	音楽の集い(1階ホール) 5団体(裏面参照)
13:00～16:00	舞台発表(1階ホール) 16団体(裏面参照)

★🎄🎁★🎄🎁

第 41 回首里公民館まつり

プログラム

🎄🎁★🎄🎁

7 日（土）子どもフェスタ 11:00～12:00

	出演	開始時間
1	花のいろ保育園	11：00
2	ともだちや児童クラブ	11：10
3	県立芸大民謡	11：20
4	首里高合唱部	11：35
5	首里高吹奏楽部	11：45



8 日（日）音楽の集い 10:00～11:55

	出演	開始時間
1	アダルツ・リコーダー・アンサンブル	10：01
2	首里ファミリアコーラス	10：20
3	アマーレ ギターラ	10：40
4	ギターサークル首里	11：00
5	沖縄マンドリンアンサンブル	11：20
6	フィナーレ	11：45

8 日（日）舞台発表 13:00～15:59

	内容	団体名	演目	開始時刻
	首里公民館 館長より 開会のあいさつ			13:00
1	三 線	琉湊会A	1.かぎやで風節 2.ひやみかち節 3.地管攪	13:02
2	詩 吟	沖縄岳精会首里教 場	1.関山の月 2.心に太陽をもて	13:14
3	琉球舞踊	琉 舞友の会	1.祝い節	13:24
4	琉球舞踊	寿之会	1.揚作田	13:35
5	三 線	琉湊会B	1.安波節 2.てんしゃこの花 3.安里屋ゆんた	13:46
6	詩 吟	首里吟友会	1.名鑑日本号 2.影を慕いて	13:58
7	フラダンス	プアケニケニ	1.エピリマイ 2.キパフル	14:07
8	クエーナ	首里クエーナ保存会	1.アガリユウ 2.大城クエーナ	14:17
9	詩 吟	北森吟詠会	1.半夜 2.山部宿禰赤人富士の山を望る歌 一首併せて短歌 3.除夜の作	14:29
10	太極拳	首里楽楽太極拳	1.楽楽太極拳	14:41
11	朗 読	平和朗読・首里	1.詩集 くじけないで	14:53
12	二 胡	那覇中国胡弓同好会	1.美わしの琉 球 2.小花鼓	15:05
13	童 謡	童謡サークル赤い鳥那覇	1.めだかの学校 2.こじかのバンビ 3.あめふり 4.夕焼小焼	15:14
14	歌 声	歌声倶楽部みやび	1.肝がなさ節 2.冬の星座 3.丘を越えて	15:26
15	太極拳	沖縄太極拳同好会	1.太極 扇	15:37
16	三 線	湛水流伝統保存会	1.作田節 2.早作田節	15:49

